

## 第 45 期 4thQ 全社部会スピーチ

2018 年 2 月

### 『1. 健康維持について 2. フロウエルの常識は世間の非常識』

インフルエンザが流行っています。社内でも複数人罹患して自宅療養を余儀なくされていますが、病気で仕事に穴をあける者は、プロ失格です。私は皆さんの給与査定をしていますが、病欠にはことのほか厳しいですので、その認識でいて下さい。お給料をもらっている以上皆さんはプロですから、熱があっても仕事を休んではいけません。インフルエンザのごとき伝染病は、規定により出社禁止となりますが、伝染性が弱い病気に関しては、どんなにつらくても出社しなければいけません。自分がつらい思いをしなくてもいいように、日頃の健康管理をしっかりとすべきです。体調を崩したら有給をとればいいのかというのはアマチュアの考えです。有給をとってはいけないと言っているのではないですよ。健康管理のために有給はきっちり消化しましょう。リフレッシュや休まざるを得ない用事のために有給を使いましょう。家族が病気で看病しなければならないときも、有給をとって面倒みましょう。防ごうと思えば、心がけ次第で防げる病気で有給を使うのは、頻繁になれば評価が下がるぞと言いたいわけです。健康維持には、一にも二にもまず睡眠です。睡眠時間を十分にとれるよう 1 日の過ごし方を考えましょう。翌日の仕事をはかどらせるために夜更かしせずに布団に入りましょう。仕事を基本に私生活を調整するのがプロです。WLB（ワークライフバランス）がどちらか一方に偏り過ぎて、バランスが崩れていないか自己分析して下さい。残業が多くて帰宅が遅く睡眠時間がキープできない人。会社や同僚、部下のせいにしていませんか？それ、自己責任です。部下がいるような人が残業ばかりしているのは、部下を育てられていないからです。仕事ができる人材を育てて、複数人で分担し、より多くの仕事をより高いクォリティで仕上げましょう。それが会社の存在意義です。一人で仕事する方がはかどるならば、個人事務所を立ち上げるべきです。その方が収入を増やせます。

入社して 1～2 年の新人が、仕事をこなさきれずにアップアップしているのはまだわかります。平社員は、上司次第ですから、自分の仕事量を自分でコントロールはできません。ただ上司の側がいつも忙しくして部下に目配りができない状態はマネジャーとして失格です。部下の健康状態をよく観察することが出来ず、今仕事を多めに振って能力をストレッチすべきか、少しセーブさせて早く家に帰して休息させるべきかが判断できなくなります。マネジャークラスが忙しすぎて休息が取れずに病気になったというのは、がんばってるね

と褒められるようなことではないと思って下さい。

さて、睡眠ですが、昨年睡眠ブームが来ていて「睡眠負債」なる言葉が流行語になったと年末に知りました。5年以上前の一時期、私はまさに睡眠負債が慢性的に積みあがっていました。平日仕事し過ぎ、深夜過ぎまで飲酒、週末昼まで寝だめというサイクルで平日の昼は頭が冴えず、時間効率が悪くても、終わらせなければならぬ仕事量は減ったりしないので、終わるまで帰れず毎日残業→週末は起きられず、睡眠サイクルがぐちゃぐちゃになり、日中は効率が更に悪化するという負債スパイラルでした。その頃の私は知識不足で、人間はいわゆる「寝だめ」というのはできない構造になっているということを知りませんでした。本格的に健康を崩しそうになって、数年前からヘルスケア関連の書籍を乱読するようになったのですが、心について書かれた本も、体について書かれた本もまずは睡眠が大切で、しかも睡眠のとり方にはどの本も全く同じ事が書かれていました。曰く、起床時間を毎日同じにする事、週末少し長めに寝たとしても差は2時間まで、別の本には3時間までに留める事とありました。それ以上ずれると体内時計を元に戻すのに長い期間かかるそうで、平日昼間のダルさにつながってしまいます。長時間寝たいならば就寝時間を早くする方で調節すべきとの事です。このように、私の中の認識と本当の常識は、正反対だったわけで、もう少し早く正しい知識を得るべきだったと後悔しました。

ここからは、本日2つ目のテーマ、常識の食い違いについてお話しします。

随分前の話ですが、某大手メーカーを早期退職してフロウエルへやってきた従業員が私にこんな事を言いました。「フロウエルの常識は世間の非常識ですよ」私も入社以来ずっと感じていた事なので、やっぱり？と頷いてしまいました。フロウエルでまかり通る事が他の企業では絶対やったらまずいという類の事というのが多いです。例えば電話応対で語尾を伸ばす喋り方「宜しくお願ひしまーす」といって電話を切るのは、この会社が三流である事を印象づけます。最近営業部に注意したのは、社内報告の際に顧客企業の名称を略して話したり書いたりしているのが、そのままその客先で相手の社員に向かって使ってしまったケース。もし他の人もそれが問題ないと思っていたら、すぐに改めて下さい。目上の人に面と向かってあだ名で呼び捨てるに等しい行為です。同じく自分の会社名を略して報告書に記載して上司や取締役層に提出するのも実は失礼な行為です。これもフロウエルではだれも悪いと思っていないようですが、世間一般の企業でやると叱責を受けてしまいます。社内文書に「弊社」と書いたらダメと教わった人多いと思いますが、同じ事です。

冬場にワイシャツの袖をまくり上げて暑そうな顔をして働いている。見るとエアコンの設定温度は24℃になっている。おかしいでしょう？そういう事をしないように フリースのスタッフジャンパーとひざ掛けを無料支給しているわけですから。地球環境に配慮するのは21世紀の一般常識です。社長の髪が長いのも世間の非常識ですね、自覚しています。日本の男性がみんな短髪になったのは、せいぜいここ120~30年くらいの事です。有史以前から数千年間は男性も長髪ですので、常識そのものが時代とともに変化する事もあるわけです。宜しくお願ひしまーす もそのうちに三流でなくなる日が来るかもしれません。箸

のしたに手を添える食べ方、いわゆる手盆も芸能人が皆 TV でやるので、マナー違反じゃなくなる日も近いような気がします。でもそれまでは、常識・非常識の知識をしっかり取り込んで、無用なところで自分自身や自社の評価を落とさないようにしましょう。マネジャーは、部下よりも仕事をたくさんするというのは、間違った常識です。マネジャーほど健康に気を使って、いつもベストに近い体調で他人の健康に目配りする余裕をもって下さい。それが組織全体を健全に発展させる大切な要素です。

宜しく申し上げます。